Energia

報 道 資 料

平成16年11月12日
中国電力株式会社

上関原子力発電所(1，2号機)建設に係る詳細調査について

上関原子力発電所建設計画については，かねてより，所要の用地取得を完了した後に原子炉設置許可申請に必要なデータを得るための詳細調査を実施することとし，その検討を進めてきたところですが，このたび，詳細調査計画がまとまりましたのでお知らせします。

当社としては，今後，山口県，上関町をはじめ関係先とご協議させていただき，準備が整い次第，調査に着手したいと考えています。

以上

(添付資料)

上関原子力発電所(1，2号機)建設に係る詳細調査の概要

上関原子力発電所（1，2号機）建設に係る詳細調査の概要

1 調査の目的

上関原子力発電所の建設にあたり「原子炉設置許可」（核原料物質，核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第23条）の申請に必要なデータを得ることを目的として，地質，地盤等に関する詳細な調査を行います。

2 調査内容

（1）陸域における調査

a. ボーリング調査（約60本）

ボーリング機械により地盤を構成する岩石などを棒状のコアとして連続的に採取し，これを観察するとともに種々の試験を行います。

b. 地震観測（1箇所）

地震計を追加設置して，地震観測を行います。

c. 試掘坑調査（総延長約1km）

原子炉建屋の建設予定地等の地盤中にトンネルを掘り，地質を直接観察するとともにトンネル内において種々の試験を行います。

なお，調査開始にあたり，仮桟橋，ヤード整備および調査用道路の設置工事を行います。

d. 弾性波探査（総測線長約5km）

人工的に地盤に振動を発生させ，その波の伝わり方を測定して，地下の地質構造を調査します。

e. 地表地質踏査（半径約30kmの範囲）

文献および航空写真等による調査をもとに，現地において，地質および断層の有無を観察して断層の活動性，長さ等について調査します。

（2）海域における調査

a. ボーリング調査（約60本）

ボーリング機械により地盤を構成する岩石などを棒状のコアとして連続的に採取し，これを観察するとともに種々の試験を行います。

b. 弾性波探査（総測線長約3km）

人工的に地盤に振動を発生させ，その波の伝わり方を測定し

て，地下の地質構造を調査します。

c. 音波探査（半径約30kmの範囲）

船から海底に向けて音波を発振し，海底地盤から反射してくる波の伝わり方を測定して，海底の地形および地質構造を調査します。

3 調査範囲

別紙「上関原子力発電所 詳細調査概要図」のとおり

4 調査期間

2年程度

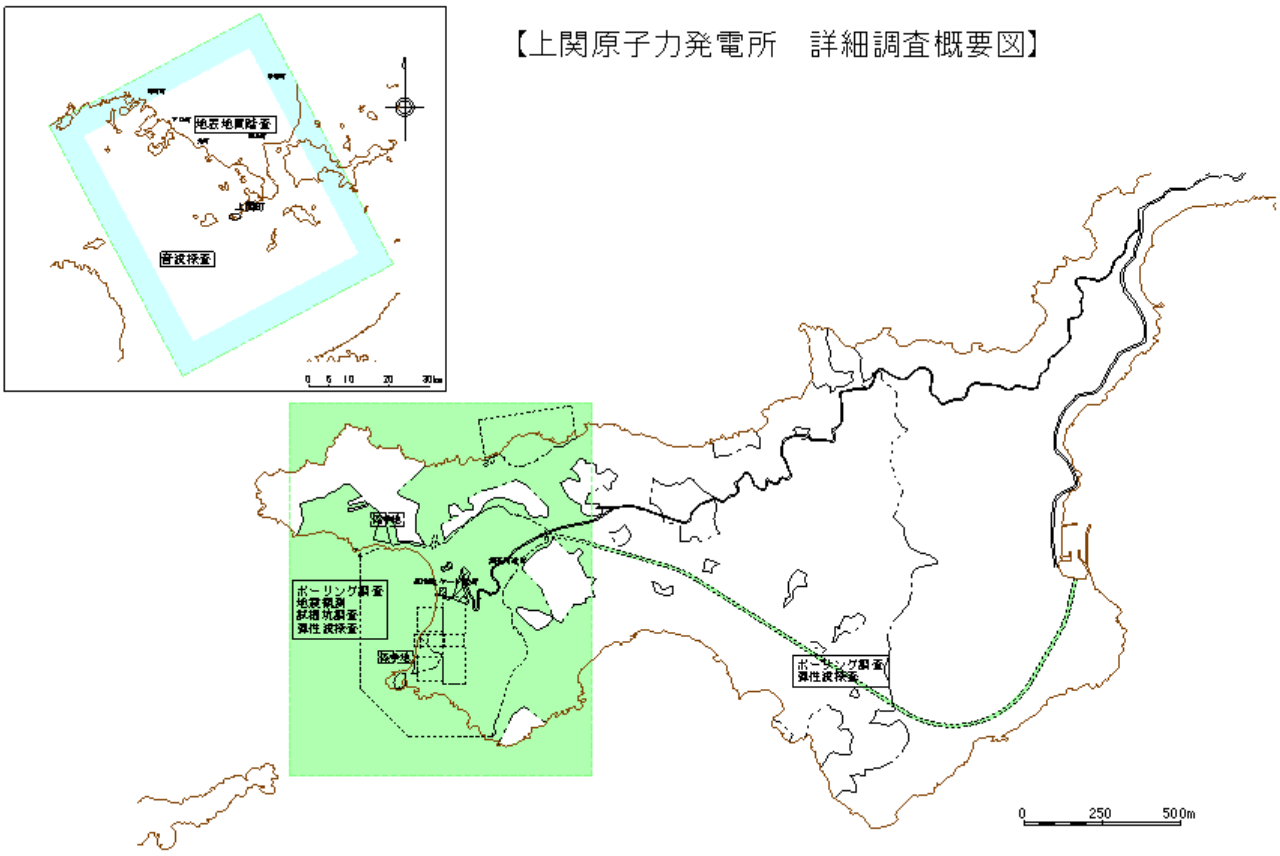
以上

《参考》上関原子力発電所（1，2号機）建設計画の概要

（1）位置　　山口県熊毛郡上関町大字長島

（2）発電所出力　1号機　137.3万kW
　　2号機　137.3万kW

（3）原子炉型式　改良沸騰水型（ABWR）

［別紙］

【上関原子力発電所　詳細調査概要図】